

入札（見積）結果調書

平成 30 年度

契約番号	第11-21-00026号		
件名	水道局本局庁舎電気工作物保安管理業務		
入札(見積)年月日	平成30年 3月 6日	午後 1時 35分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	799,200 円	主管課	11 総務課
	<small>入札(見積)価格に 8%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。</small>	最低制限価格	
工種(業種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000106310 (株) トーショウビルサービス札幌支店		

入札（見積）経過

(単位：円)

指名(見積)業者名	入札(見積)金額						価格交渉金額
	第1回	最低金額	第2回	最低金額	第3回	最低金額	
(株) TKテクノサービス北海道営業所		750,000					
(株) トーショウビルサービス札幌支店		740,000					落札
(一財) 北海道電気保安協会		976,000					
(備考)							



入札（見積）結果調書

平成 30 年度

契約番号	第72-21-00007号		
件名	藻岩浄水場ほか計算機設備保守業務		
入札(見積)年月日	平成30年 3月 6日	午後 2時 25分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	14,688,000 円	主管課	72 藻岩浄水場
	<small>入札(見積)価格に 8%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。</small>	最低制限価格	
工種(業種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000020340 美和電気工業(株)北海道支社		

入札（見積）経過

(単位：円)

指名(見積)業者名	入札(見積)金額						価格交渉金額
	第1回	最低金額	第2回	最低金額	第3回	最低金額	
美和電気工業(株)北海道支社							決定
	14,000,000		13,800,000		13,600,000		
(備考)							



業者特定理由書

下記の理由により業者を特定することといたしたい。

記

- 1 件名 藻岩浄水場ほか計算機設備保守業務
- 2 業者名 美和電気工業(株)北海道支社
- 3 特定理由 本業務は、計算機システムの点検・整備を行うことでその機能を維持し、システムの信頼性の確保を図るものである。
当該システムは 24 時間連続稼動しているため、これらの保守業務を行うには、当該システムのハード及びソフトに対する専門の知識・技術力を必要とし、過去の保守データ及びハード・ソフトの変更履歴等のデータを保有していること、かつ藻岩・西野・宮町浄水場のプロセス制御を熟知している業者でなければ対応は不可能である。
当該システムは、横河電機(株)がハード・ソフト共に製作し、総合代理店である上記業者が納入施工したもので、メーカー独自の開発に依る部分が多く、上記業者以外に公表されていない機器情報もあることから、他社では詳細な点検整備、性能評価が出来ない。したがって、本業務は、上記業者でなければ行うことができない。
- 4 根拠規定 地方公営企業法施行令第 21 条の 14 第 1 項第 2 号に該当するため。

入札（見積）結果調書

平成 30 年度

契 約 番 号	第73-21-00004号		
件 名	定山溪浄水場計算機設備保守業務		
入札(見積)年月日	平成30年 3月 6日	午後 2時 30分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	1,566,000 円	主 管 課	73 白川浄水場
	入札(見積)価格に 8%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。	最低制限価格	
工 種 (業 種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000020340 美和電気工業（株）北海道支社		

入 札（ 見 積 ） 経 過

(単位：円)

指名(見積)業者名	入 札（ 見 積 ） 金 額						価格交渉金額
	第 1 回	最 低 金 額	第 2 回	最 低 金 額	第 3 回	最 低 金 額	
美和電気工業（株）北海道支社		1,450,000					決定
(備考)							



業 者 特 定 理 由 書

下記の理由により業者を特定する。

記

- 1 件 名 定山溪浄水場計算機設備保守業務
- 2 業 者 名 美和電気工業(株) 北海道支社
- 3 特定理由 本業務の対象機器は、浄水場の浄水プロセスをコントロールする計算機システムである。本業務は、計算機システムの点検・整備を行うことでその機能を維持し、システムの信頼性の確保を図るものである。
本業務では、製造メーカーの技術基準に基づいた点検・調整（入出力信号変換精度調整）・良否判断を求めている。当該システムは、横河電機(株)がハード・ソフト共に製作し、総代理店である上記業者が納入施工したもので、メーカー独自の開発に依る部分が多く、上記業者以外に公表されていない機器情報があることから、他社では詳細な点検整備等、性能評価が出来ない。また、ハード・ソフトの変更履歴等の過去データを保有しており、かつ定山溪浄水場のプロセスの制御を熟知している業者でなければ対応は不可能である。
以上より、上記業者以外では本業務を履行することができない。
- 4 根拠規定 地方公営企業法施行令第21条の14第1項第2号に該当すると判断されるため。

入札（見積）結果調書

平成 30 年度

契約番号	第73-21-00012号		
件名	白川浄水場計算機設備保守業務		
入札(見積)年月日	平成30年 3月 6日	午後 2 時 35分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	9,720,000 円	主 管 課	73 白川浄水場
	<small>入札(見積)価格に 8%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。</small>	最低制限価格	
工種(業種)	290その他		円
落札(決定)業者	60000020340 美和電気工業(株)北海道支社		

入 札 （ 見 積 ） 経 過

(単位:円)

指名(見積)業者名	入 札 （ 見 積 ） 金 額						価格交渉金額
	第 1 回	最 低 金 額	第 2 回	最 低 金 額	第 3 回	最 低 金 額	
美和電気工業(株)北海道支社		9,000,000					決定
(備考)							



業者特定理由書

下記の理由により業者を特定する。

記

1. 件名 白川浄水場計算機設備保守業務
2. 業者名 美和電気工業(株) 北海道支社
3. 特定理由 本業務は、計算機システムの点検・整備を行うことでその機能を維持し、システムの信頼性の確保を図るものである。
当該システムは24時間連続稼働しているため、これらの保守業務を行うには、当該システムのハード及びソフトに対する専門の知識・技術力を必要とし、過去のデータ及びハード・ソフトの変更履歴等のデータを保有していること、かつ白川浄水場プロセスの制御を熟知している業者でなければ対応は不可能である。
本業務では、製造メーカーの技術基準に基づいた点検・調整(入出力信号変換精度調整)・良否判断を求めている。
当該システムは、横河電機(株)がハード・ソフト共に作製し、総代理店である上記業者が納入施工したもので、メーカー独自の開発に依る部分が多く、上記業者以外に公表されていない機器情報もあることから、他社では詳細な点検整備・性能評価ができない。また、上記業者はシステム管理のためのサポート体制も整っており、休日・夜間に発生した異常にも対応可能である。
したがって、本業務は、上記業者でなければ行うことができない。
4. 根拠規定 地方公営企業法施行令第二十一条の十四第一項第二号に該当すると判断されるため。

入札（見積）結果調書

平成 30 年度

契約番号	第74-21-00011号		
件名	水源水質計器保守点検業務		
入札(見積)年月日	平成30年 3月 6日	午後 2時 40分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	6,588,000 円	主管課	74 水質管理センター
	<small>入札(見積)価格に 8%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。</small>	最低制限価格	
工種(業種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000020340 美和電気工業(株)北海道支社		

入札（見積）経過

(単位:円)

指名(見積)業者名	入札(見積)金額						価格交渉金額
	第1回	最低金額	第2回	最低金額	第3回	最低金額	
美和電気工業(株)北海道支社							決定
	6,200,000		6,100,000				
(備考)							



業者特定理由書

下記の理由により業者を特定する。

記

1. 件名 水源水質計器保守点検業務
2. 業者名 美和電気工業株式会社 北海道支社
3. 特定理由
本業務で保守点検を委託する水源水質計器は、河川水の油分やアンモニア濃度等を 24 時間 365 日連続で測定している。この測定結果から得られる情報は、浄水場における薬品注入率の決定や水源水質異常の早期発見に活用されており、浄水場の安定した運転に必要不可欠である。
この計器は、横河電機株式会社独自の技術開発により制作され、技術基準等は一般に公開されていない。
本業務で求めている計器の点検整備及び保守管理は、設備仕様及び詳細なデータを保有している業者でなければ行うことはできない。
上記業者は、横河電機株式会社からこの計器の販売・メンテナンスの代理店に指定されている唯一の業者である。
以上より、上記業者以外では本業務を履行することができない。
4. 根拠規定 地方公営企業法施行令第 2 1 条の 1 4 第 1 項第 2 号に該当すると判断されるため。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

入札（見積）結果調書

平成 30 年度

契約番号	第74-21-00013号		
件名	給配水モニタ保守点検業務		
入札(見積)年月日	平成30年 3月 6日	午後 2時 45分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	27,000,000 円	主管課	74 水質管理センター
	<small>入札(見積)価格に 8%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。</small>	最低制限価格	
工種(業種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000020340 美和電気工業(株)北海道支社		

入札（見積）経過

(単位:円)

指名(見積)業者名	入札(見積)金額						価格交渉金額
	第1回	最低金額	第2回	最低金額	第3回	最低金額	
美和電気工業(株)北海道支社		25,000,000					決定
(備考)							



業者特定理由書

下記の理由により業者を特定することとする。

記

- 1 件名 給配水モニタ保守点検業務
- 2 業者名 美和電気工業株式会社 北海道支社
- 3 特定理由

本業務で保守点検を委託する給配水モニタは、市内給水栓及び配水池の濁度、色度、残留塩素及び電気伝導率等を24時間365日連続で測定している。この測定データは水質管理センターが保有する水質情報管理システムに送信しており、水道水の水質を常時把握するための重要な装置である。

給配水モニタは、横河電機株式会社独自の技術開発により製作され、この設備の技術基準等は外部に公開されていない。この横河電機株式会社のみが保有する技術及びデータを継承する唯一の保守代理店は、給配水モニタを納入、設置した美和電気工業株式会社北海道支社のみである。

本業務で求めている、給配水モニタの点検整備、装置の感度維持及び故障時対応等の保守管理においては、設備仕様及び詳細なデータを保有している業者でなければ機能診断及び劣化診断における良否の判定はできない。

以上の理由から、これらの条件を満たす業者は他には無い。よって上記業者を特定することとする。
- 4 根拠規定 地方公営企業法施行令第21条の14第1項第2号に該当すると判断されるため。